

ABOUT US

2005年より東京大学医科学研究所探索医療ヒューマンネットワークシステム(後に先端医療社会コミュニケーションシステム)を主宰し、医療ガバナンスを研究。2016年4月、特定非営利活動法人医療ガバナンス研究所を設立しました。

現場からの医療改革推進協議会

2006年より毎年開催。医療現場における問題事例を取り上げ、医療現場の主人公である患者様と医療スタッフが、現場の視点から具体的な問題提起を行います。



上 昌広(かみ まさひろ)

特定非営利活動法人 医療ガバナンス研究所 理事長

兵庫県出身。1993年東京大学医学部医学科卒。1999年同大学院医学系研究科修了、虎の門病院血液科医員。2001年国立がんセンターにて薬物療法医員として造血器悪性腫瘍を診療・研究。2010年より東京大学医科学研究特任教授などを経て、2016年4月より当法人理事長、星槎大学共生科学部客員教授、「周産期医療の崩壊をくい止める会」事務局長、現場からの医療改革推進協議会事務局長を務める。



特定非営利活動法人
MEGRI 医療ガバナンス研究所



Contact us for information

メールマガジンMRIC

2003年より医療とそれを取り巻く諸問題に焦点を当てたMRICメールマガジンを配信しています。配信先は、医療関係者、官僚、企業、メディア関係者、学生、一般の方々に約50,000人に上ります。

2017年12月からは、MRICの英語版「MRIC Global」の配信をスタート。MRIC Globalは、ネパール、フィリピン、ベネズエラをはじめ、世界各国から寄稿を毎週月曜日に配信しています。

- MRIC by 医療ガバナンス学会 <http://medg.jp>
- MRIC Global <https://www.mricg.info>



TEL:(03)-6455-7401

FAX:(03)-3441-7505



〒108-0074

東京都港区高輪2-12-13

レジデンス高輪 201号室



exp-office@umin.net

2021.01/19

現場で活動し
官ではない公をつくる



<https://www.megri.or.jp>

OUR ACTIVITY

ナビタスクリニック

当研究所の理事、久住英二医師は2006年、研究所スタッフや学生たちとともに新宿西口に「コラボクリニック」を開設。後に立川、川崎、新宿駅のエキナカに「ナビタスクリニック」を開院。



当研究室では、スロバキア、ハンガリー、チェコなど、東欧の医学部に在籍する日本人留学生が、毎年、夏休みと冬休みを利用してインターンにきています。東欧以外にも、モロッコ、バングラデッシュやネパールの医学生の日本への留学支援も行っています。



世界各国との共同研究

上海復旦大学公衆衛生学員の姜慶五教授、趙根明教授らのグループと2010年から交流事業、共同研究を進めています。

2014年より、ネパールの大学病院の医師、看護師らと共同研究をしています。大学病院の入院患者のカルテ調査をし、途上国における災害の教訓を論文にまとめています。

また、アメリカ・ボストン在住の大西睦子医師と、ハーバード大学における食生活や遺伝子と病気に関する基礎研究や米国の医療状況について情報交換しています。



COVID-19の調査・研究

COVID-19によって引き起こされた諸問題について調査、研究し、論文にて発表しています。

2020年9月現在、掲載論文は23編。国内のみならず、海外の医師・研究者との共同研究による論文が全体の半数以上を占めています。

大学生も含め、大学や研究所、一般病院といった所属や立場に縛られず、それぞれのフィールドで柔軟に調査・研究を行っています。



福島県浜通りでの医療・研究活動

2011年の震災直後から、独自のネットワークを通じて福島県浜通りの支援を続け、現場で見聞きしたありのままの事実とデータを、主要の医学誌や様々なメディアで発信しています。



震災直後から医療支援のため若手医師を派遣。坪倉正治医師を中心に、多くの医師が現在も福島で診療や内部被ばく検査、研究を続けています。

坪倉医師は2020年6月から、福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座主任教授。